

平成28年度使用教科用図書選定のための資料

学校教育法附則第9条教科用図書（一般図書）

岩手県教育委員会

平成28年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（見本）理由書一覧

1 図書名

No.	出版社	書名	該当教科	障がい種	学部・学年等	価格
1	小学館	デコボコえほん かずをかぞえよう!	算数	視覚障がい	小学部・2年(特別学級)	¥1,296
2	絵本館	まってるまってる	生活	知的障がい	小学部・5年(特別学級)	¥1,296
3	福音館書店	ごはん	生活	知的障がい	小学部・6年(特別学級)	¥1,512
4	福音館書店	あそびのレシピ	美術	聴覚障がい	中学部・2年(特別学級)	¥1,728
5	借成社	これなあに?	生活	視覚障がい	小学部・5年(特別学級)	¥3,024
6	小学館	てんじつきさわるえほん さわるめいろ2	国語	視覚障がい	中学部・2年(特別学級)	¥2,052
7	講談社	DX版 新幹線のたび ～はやぶさ・のぞみ・さくらで日本縦断～	社会	知的障がい	中学部・3年	¥1,674
8	チャイルド本社	くらしとぎょうじのせいかつ図鑑	生活	知的障がい	小学部・3年	¥1,728
9	すずき出版	かぞえておぼえる かずのえほん	算数	知的障がい	小学部・5年	¥1,620
10	幻冬舎	はじめてのあいうえお	国語	知的障がい	小学部・2年	¥2,030
11	福音館書店	きょうのおやつは	生活	知的障がい	小学部・6年(特別学級)	¥1,620
12	ポプラ社	いろいろのほん	図画工作	知的障がい	小学部・4年	¥1,404
13	ベネッセ	せかいのおうたえほん	音楽	肢体不自由	小学部・3年(特別学級)	¥2,138
14	借成社	パパ、お月さまとって! (ボードブック)	算数	肢体不自由	小学部・3年(特別学級)	¥972
15	ブロンズ新社	しごとば	職業・家庭	聴覚障がい	中学部・2年(特別学級)	¥1,836
16	あかね書房	たのしくおぼえるあいうえおえほん	生活	知的障がい	小学部・3年	¥1,944
17	ミキハウス	ポカポカフレンズのリズムえほん マラカス	音楽	肢体不自由	小学部・2年(特別学級)	¥2,376
18	学研	くだものさん	国語	知的障がい	小学部・2年	¥1,026
19	金の星社	ひまわり	理科	病弱	中学部・1年(特別学級)	¥1,296
20	こぐま社	くっついた	国語	知的障がい	小学部・1年(特別学級)	¥864

2 一般図書選定の理由書（次頁）

一般図書選定の理由書

番 号	1
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	デコボコえほん かずをかぞえよう！		発 行 者 名	小学館	
図 書 の 内 容	<p>本書は、開くと右側は大きい数字がくりぬきになっており、左側には絵と数とその数の分の立体の丸が提示され、一対一対応をしながら10までの数の学習に取り組むことのできる内容となっている。立体の丸は、規則的に並んでいないので、どこにあるか触って確かめる楽しさがある。また、「こどもがひとり」「タイヤがふたつ」「かたつむりが3びき」など数え方の違いも学習できる。数字は形をなぞって確認できるので、数字の形を覚える段階に利用できると考えられる。赤、黄、緑を基本としたはっきりとした色なので集中して取り組むことができると思われる。</p>				
対 象 学 年	小学部2年(特別学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>視力は両目で0.05程度と推測される弱視の児童である。はっきりしたコントラストの色であれば、区別ができる。手で様々な感触のものに触ることをあまり好まないが、何度か経験したことについては手を出して触ってみようとする様子もみられるようになってきている。</p> <p>10までの数唱はできるが、実際の一対一対応はまだ難しい児童である。「はなびらが6まい」「ボールが10こ」など身近な数え方で親しみやすい内容となっているので、教師と一緒に触りながら数える、「ひよこは何色？」と絵や色を確認するなど、楽しみながら取り組むことができると思われる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に絵本を読む。</p> <p>(2) 1～10のそれぞれのページ毎に立体の丸を触り、教師と一緒に数える。どこにあるか、目と指で確かめながら触る。</p> <p>(3) 教師と一緒に数字の形を触ってなぞり、確かめる。</p> <p>(4) ランダムにページをめくり、一対一対応で触りながら数を数える。</p> <p>(5) 「～は何色？」など色も確かめながら読む。</p> <p>(6) 「こどもがひとり」「タイヤがふたつ」「かたつむりが3びき」「あわが4つ」など、ものによって数え方に違いがあることを学習する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	2
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		まってるまってる		発行者名		絵本館	
図書の内容		<p>本書を開くと、買い物に出かけるおばさん、野球少年、新聞を持ち歩く男の人などの他、鬼、熊、お化けなど様々な登場人物が行列を作って並んでいる。ページをめくると、たこ焼き屋に並んでいる行列だったことがわかるが、その後すぐまたドーナツ屋、りんごと行列が続き、登場人物がどんどん太っていく。おなかいっぱい食べた後は、青い顔をしてトイレに並ぶ行列、そしてすっきりした表情に変わるといふ流れで構成されている。「まってるまってる 何の行列?」「あれ、また行列?」など簡単な言葉のみの絵本で、言葉を付け足したり、それぞれの登場人物について脚色したり想像を膨らませたりすることのできる図書である。</p>					
対象学年		小学部5年(特別学級)	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活	
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>知的発達が8歳程度の児童である。言葉による指示を理解することができ、自分の思ったことを言葉で伝えることができるようになってきている。絵本を見るのが好きで、平仮名を読むことができる。休み時間など自分で絵本を持ってきて読んでいることも多い。</p> <p>登場人物やみんなが並んでいる行列について、また、次はどうなるかなど想像し、日常生活と比較しながら物語を楽しむことができると思われる。また、友達や教師と一緒に、劇仕立てにして楽しむことでコミュニケーションの力を伸ばすことに期待ができる。</p>					
	指導の概略	<p>(1) 教師の読み聞かせを聞く。 (2) 自分で読む。 (3) 絵を見て登場人物について話し合う。 (4) 次は何の行列なのか、この後はどうなるのかを想像する。 (5) 何人並んでいるか数えてみる。 (6) 自分で「○○の行列」のお話を作ってみる。 (7) 学級の友達、教師と一緒に簡単な劇ごっこにして楽しむ。</p>					

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	3
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	ごはん	発行者名	福音館書店		
図書の内容	<p>本書は、「ごはん」のできる様々な料理が、色彩豊かなイラストで紹介された図書である。身近な食べ物なので、興味をもちやすいと思われる。「たきこみごはん」「がいこくごはん」「おむすび」「おちゃづけ」「おすし」「かけごはん」「どんぶりもの」「おかゆ」と、レストランのメニュー表のように掲載されていて、食べたことがある、または食べてみたいと、つい引き込まれる内容となっている。校外学習等の昼食を選ぶ練習や、調理学習のメニューを決める際などにも活用できると考えられる。巻末には、それぞれの「ごはん」の説明がわかりやすく示されている。</p>				
対象学年	小学部6年(特別学級)	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児童は、知的発達が9歳程度の児童である。何にでも興味があつて意欲的に取り組むことができるが、周りの環境に刺激を受けやすく、一つのことに集中できる時間が短い。</p> <p>本児童にとって親しみやすい「ごはん」を取り上げることで興味を引きつけ、一つ一つメニューを読み上げながら絵を目で追ったり、「食べたいね」「おいしそう」と感想を話したりすることによって、集中できる時間を増やしたり、次の時間への期待を膨らませたりすることができると思われる。日常生活と結び付いた食べ物が掲載されているので、食に対しての関心だけでなく、作ってみたい、食べてみたいという意欲も引き出すこともできると考えられる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書を見て、食べたことがあるものを探す。</p> <p>(2) 知っているごはん、食べてみたいごはんを選ぶ。</p> <p>(3) 絵と照らし合わせながら、ごはんの名前を読んだり、教師が読んでいるのを聞いたりする。</p> <p>(4) 材料は何か想像したり教師に聞いたりする。</p> <p>(5) 調理学習「ごはん料理を作ってみよう！」で実際に作り、試食し、感想を書く。</p> <p>(6) 「こんなごはんを食べてみたい」というメニューを考えてみる。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	4
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		あそびのレシピ	発行者名	福音館書店	
図書の内容		<p>本書は、自然の素材や身近にある材料と簡単な道具を使って、日常の生活や遊びに使うものを制作する手順を紹介している。できあがりの写真や手順に沿った細かなイラストによる説明が掲載されている。完成した作品が大きめの写真で示されているので、できあがりの見通しをもちやすく、意欲につなげることができると思われる。27種のレシピの他、巻末には作り方のヒント、道具・材料についての紹介もあり、ものづくりの楽しさを味わうことができるよう構成されている。</p>			
対象学年		中学部2年(特別学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科 美術
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、聴力が左右とも80db程度の聴覚障がいと自閉症を併せ有する生徒である。補聴器を活用し、ある程度の音声を聞きとることができる。日常生活動作はほぼ確立しており、静かな環境の中では集中して学習に取り組むことができる生徒である。</p> <p>本書を活用することで完成までの制作過程を把握し、見通しをもちながら作品を仕上げたり、自分で工夫したりして、楽しみながら制作活動に取り組むことができると思われる。</p> <p>また、できあがった作品を通して、周りの友達や大人とのコミュニケーションの幅を広げることにつながることも期待したい。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本を見て作りたい作品を探す。 (2) 自然のものに目を向け、散策などをしながら素材集めをする。 (3) イラストを見ながら道具を準備する。 (4) 教師と一緒に手順を確認し、制作する。 (5) 完成品を展示し、友達や教師、保護者などに紹介して感想を聞く。また、動かして遊ぶことができるものについては、実際に遊んでみることで達成感を味わう。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	5
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		これなあに？	発行者名	偕成社		
図書の内容		<p>本書は実際に指で触ることで、ザラザラ、バラバラ、ポツポツ、シマシマ、ツルツルなどの感触を味わったり、形をたどったり、比べたりすることのできる図書である。「ザラザラくん」が会える友達や家族の物語に仕立てて構成されており、お話を聞きながら指で触ったりたどったりして想像を膨らませることができる内容となっている。また、「まあるい家」「さんかくの家」「ましかくの広場」など、線をたどって形にも触れることができる。</p>				
対象学年		小学部5年(特別学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、両眼視力が0.03程度の弱視の児童で、知的な発達にも遅れが見られる。絵本などを見るときは、視距離を5cmに近づけて見ている。視覚に頼った生活をしているが、学習場面では、視覚活用と触察の二つの側面からのアプローチが今後必要になってくると思われる。</p> <p>本書を活用する中で、指先で線や形をたどったり、ザラザラ・ポツポツといった感触を味わったりでき、また、黄色地に黒の線でコントラストがはっきりしているため、本児にとっては目を近づけて見ても楽しむことができると思われる。また、教師に読んでもらいながら話の内容に沿って線や形を触ることで、想像力を膨らませることも期待できる。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 教師の読み聞かせを聞く。 (2) 指で触って「ザラザラ」「バラバラ」「ポツポツ」「シマシマ」「ツルツル」の感触の違いを確かめる。 (3) 指先で線をたどる練習をする。 (4) 教師の読み聞かせに合わせてながら、触って様々な感触を確かめる。</p>				

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	6
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	てんじつきさわるえほん さわるめいろ2	発 行 者 名	小学館		
図 書 の 内 容	本書は、点字の線を触ってたどり、迷路を楽しむことができる図書である。1ページに1種類の迷路があり、表紙も含めて全部で11種類収録されている。簡単なものから始まり、順を追って難しいものに挑戦していくようになっている。スタートは逆三角形のマーク、ゴールは丸のマーク、ページの上からスタートしてページの下にゴールがあるという形で統一されているため、決まりを覚えると一人で先に進み、楽しむことができる。また、絵本の向きを変えたり挑戦する順番を変えたりすることで、繰り返し取り組むことができる。				
対 象 学 年	中学部2年(特別学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	本生徒は、全盲で知的発達に10歳程度の生徒である。中学部の学習にも見通しをもち、落ち着いて行動できるようになってきている。気が散りやすく、決められた時間集中して学習に取り組むことに難しさがみられるが、静かな環境を整えることによって、少しずつ課題に集中できる時間が増えてきている。点字の読みはまだ習得していないが、様々なものに触って「これ何?」と何度も質問したり、点字に興味をもつなどの様子がみられたりするようになってきている。 本書で学習することで、楽しみながら点に沿って線をたどり、点字を読むための基本的な動作を身に付けていくことができると考えられる。			
	指導の概略	(1) 教師が生徒の手をとって、点字の線に沿って指を動かす。 (2) 線が切れているところは行き止まりであるというルールを教える。 (3) 一人で迷路に取り組む。 (4) 絵本の向きを変えたり、スタートとゴールを反対にしたりするなどして取り組む。 (5) 様々な迷路に取り組む。			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	7
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	DX版 新幹線のたび ～はやぶさ・のぞみ・さくらで日本縦断～	発行者名	講談社		
図書の内容	<p>本書は日本を縦断する新幹線の旅の本である。立体的な地図で描かれた日本地図が掲載されており、主人公が新青森駅から鹿児島中央駅まで新幹線で旅をする様子が描かれている。日本地図の中には、世界遺産や名所が掲載されており、岩手では小岩井農場や中尊寺などが描かれている。新幹線の旅ということで、駅名が全て記入されており、北陸新幹線の様子も掲載されている。また、新幹線の中の様子がずっと描かれているので、主人公と共に新幹線に乗った気分で日本を縦断することができる。</p>				
対象学年	中学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	社会
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が10歳程度の自閉症の生徒である。身辺処理等は自立しており、常に見通しをもって行動することができる。校外学習や宿泊学習などの行事を楽しみにしており、特にバスや新幹線に興味を持っている。公共の乗り物でのルールを理解しており、家族や家族以外のグループと県外への旅行経験もある。</p> <p>修学旅行を意識し、旅行先に行くためにはどの新幹線に乗るのか？、どこの駅で降りるのか？等を調べたり、小学部で行った修学旅行先を地図でたどってみたりすることで場所を意識することができる。また、これから行ってみたい場所や見てみたい名所を調べることで、知識や理解を広げ、今後の余暇活動につなげていくことができる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 自分が住んでいる場所の駅名や名所を調べ、地図上の位置を考える。</p> <p>(2) 小学部の修学旅行先を地図でたどってみたり、中学部の修学旅行先の駅名や名所、利用する新幹線名を調べたりする。</p> <p>(3) 本を読みながら主人公と共に日本を縦断する。</p> <p>(4) 新幹線の種類を調べる。</p> <p>(5) 世界遺産や名所を調べる。</p> <p>(6) 行って見たい場所へのルートを自分で調べる。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	8
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	くらしとぎょうじのせいかつ図鑑	発 行 者 名	チャイルド本社
図 書 の 内 容	<p>本書は、あいさつや食事のマナー、掃除や歯みがきの仕方、食べ物を通して見る1年間の行事など、子ども達の生活の中の身近なテーマを楽しくわかりやすい絵で説明している。</p> <p>「はしの持ち方」や「ぞうきんのしぼり方」、「鉛筆の持ち方」等は写真で掲載されており、普段の生活を振り返りながら身に付けることで、自立に向けて役立てることができる。また、交通ルールや乗り物に乗る時のルール、買い物の仕方なども掲載されており、校外学習における約束事の確認として、活用することができると思われる。</p>		
対 象 学 年	小学部3年	障がい種別	知的障がい 該当教科 生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達が6歳程度の知的障がいのある児童である。日常生活動作は、丁寧さに欠ける面がみられるが、ほぼ自立している。簡単な指示を聞いて行動することができる。校外に出る活動が好きで積極的に学習するが、集団での活動が苦手で、突発的な行動をとることが多く、安全面などへの注意が足りない部分がみられる。</p> <p>校外に出かける前に、具体的なルールや買い物の仕方等を学習し、繰り返し経験を積むことで、今後の学習や将来の自立に役立てることができると思う。</p>	
	指 導 の 概 略	<p>(1) 本の内容を確認しながら、興味のあるページを見る。</p> <p>(2) 給食の時間や掃除の時間等に、はしの持ち方やぞうきんのしぼり方等を確認する。</p> <p>(3) 買い物学習や校外学習、宿泊学習の事前学習で、交通ルールや乗り物のルール、買い物の仕方を学習する。</p> <p>(4) 行事に関係する食べ物を学び、調理活動に取り組む。</p>	

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	9
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		かぞえておぼえる かずのえほん		発行者名		すずき出版	
図書の内容		<p>本書は、主人公の家の中にある身のまわりの物を数える絵本である。物語が進むにつれて物が増えていくため、楽しみながら数の学習を進めることができる。1から20までは一つずつ増えていくので、一対一対応をしながら、数を数えることができる。20からは10ずつ増えて100まで表しているの、視覚的に量が増えていることをとらえやすい。実際によく目にする物や子ども達が使う物を中心に数えるため、興味をもって取り組むことができる内容となっている。子ども達の実態に応じて、様々な使い方ができ、学習内容を広げることのできる図書である。</p>					
対象学年		小学部5年		障がい種別		知的障がい	
				該当教科		算数	
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が6歳程度の知的障がいの児童である。10までの数の概念は理解しており、和が10までの加法の計算ができる。</p> <p>本書は身近な生活の物を数える本のため、興味をもって親しみながら10以上の数を数えることができる。ページごとに数える物が変わり、また、数える物の絵や柄等も違うので、本児童も集中力を持続しながら学習に取り組むことができる。ページをめくり、示された物を探しながら数える楽しさを味わうことで、最後まで興味をもって数を数える学習に取り組むことができると思われる。</p>					
	指導の概略	<p>(1) ページごとに家の中にある物や興味のある物の名前を確認する。</p> <p>(2) ページごとに数字が書かれていたり、物が増えていたりしていることを確認する。</p> <p>(3) 10までのページでは、自力で一対一対応しながら物を数える。</p> <p>(4) 11～20のページでは、数える物をチェックしながら、教師と一緒にゆっくりと数える。また併せて、数字プリントなどを使い数字を書く練習を行う。</p> <p>(5) 30～100のページでは、数える物を10のまとまりにくくり、教師と一緒に数える。同じく数字を書く練習を行う。</p> <p>(6) 身のまわりにある物を実際に数える練習をする。</p>					

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	10
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	はじめてのあいうえお	発 行 者 名	幻冬舎		
図 書 の 内 容	<p>本書は、平仮名を初めて学ぶ子ども向けの音の出る平仮名絵本である。濁音機能等が付いていないシンプルなデザインで、50音順に平仮名が並んでおり、一文字ずつ音が出るようになっている。子どもにとって身近なものの絵が使用されており、平仮名を探す際わかりやすくなっている。また、録音・再生機能が付いており、自分で作った単語を録音し聴くことができる。</p> <p>「もじのもんだい」「ことばのもんだい」「もんだい」が付いており、段階に応じて問題に挑戦することができる仕組みとなっている。</p>				
対 象 学 年	小学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達が3歳程度の知的障がいの児童である。食べ物カードや身近なものの絵が描かれているカードに興味があり、休み時間一人でカードをめくって遊ぶ様子がみられる。平仮名は自分の名前をなぞり書き程度に書くことができるが、好きな活動ではない。また、同じ絵カード同士のマッチングを行うことができる。</p> <p>本書は50音の平仮名と共に身近なものの絵が描かれており、またその平仮名を押すと音が出るため、楽しんで活動に取り組むことができる。「あひる」の「あ」や「いす」の「い」など、平仮名はものの名前とかかわりがあることを確認しながら学習を進めていくことで、平仮名の習得につなげることができる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 描かれている絵を確認する。</p> <p>(2) 絵カードを用意し、同じ絵の平仮名を探す。</p> <p>(3) 「あひるのあ」等、描かれている絵の名前を聞き、その平仮名を探す。</p> <p>(4) 好きな絵や興味がある絵を紙で隠して見えないようにした上で絵の名前を聞き、平仮名を探す学習を行う。</p> <p>(5) 「もじのもんだい」に挑戦する。</p> <p>(6) 「ことばのもんだい」に挑戦する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	11
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		きょうのおやつは	発行者名	福音館書店		
図書の内容		本書は鏡のように反射する紙で作られた本である。本を開くと、両側のページに絵が互いに映りこみ、立体的に見えるようになっている。卵、小麦粉、砂糖、牛乳などを用いて、鏡の世界でホットケーキ作りが始まる。卵を割ると卵の白身がとろりと流れ落ち、ホットケーキからは湯気がふわりと立ち上がる感じが感じられる。鏡のように反射する効果が生み出す三次元の世界でのおやつ作りを、楽しく体験することができる内容となっている。				
対象学年		小学部6年(特別学級)	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が3歳程度の自閉症の児童である。身辺処理等は、一部支援を必要とするが、簡単な内容であれば言葉の指示を理解して行動することができる。登校時から情緒が安定していないことが多く、好きな活動を行うことで徐々に気持ちを切り替えることができる。また、興味関心に偏りがあり、一つのことに固執する傾向がみられる。</p> <p>本書は鏡の絵本ということで、本を開く角度によって見え方が変わることから、自分の見たい角度を探しながら自分流のホットケーキを作ることで、本を見る楽しさを味わうことができる。さらにそのことが情緒の安定につながり、興味関心を広げる一つのきっかけとなる。ストーリーが手順表になっているため、その後の調理活動につながり、一人で取り組む支援の手立てとして活用することができる。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 角度を調節し教師と一緒に本を読む。</p> <p>(2) 本児が鏡に映りこむように調整し、ホットケーキ作りをしているように感じながら本を読む。</p> <p>(3) 本を開く角度を変えて読むことで、見え方が変わることを感じる。</p> <p>(4) 好きな角度を見つけ、自由に本を読む。</p> <p>(5) 本を参考に、ホットケーキ作りに取り組む。</p> <p>(6) 一人でホットケーキ作りに取り組む。</p>				

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	12
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		いろいろいのほん	発行者名	ポプラ社		
図書の内容		<p>本書は、本物の絵の具があるかのように構成されており、それぞれの色が混ざり合って、違う色に変化する様子を楽しく表現している図書である。「指に青色を付けて黄色をなでる」と緑色になる、「黄色と赤色のページを閉じてキスをする」とオレンジ色になる等、話の流れに沿いながら進んでいくと、様々な色が生まれる。混ぜ方にも工夫があり、本をゆすったり下に向けて混ぜたりする等、楽しく活動できる。「次はどうなるの?」「次は何をするの?」等、期待しながらページをめくる楽しさを味わうことのできる本である。</p>				
対象学年		小学部4年	障がい種別	知的障がい	該当教科	図画工作
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が3歳程度の児童である。身辺処理はほぼ自立しており、身近な人のかかわりを楽しむ様子がみられる。クレヨンや筆での色塗りでは、枠を意識して色を塗ることは難しいが、全体的に色を付けることができる。</p> <p>本書を活用することで、色の種類がわかり、また色と色が混ざり合う楽しさを味わうことができることから、絵を描く時に有効に活用することができる。黒色を混ぜると暗い色になる、白色を混ぜると明るい色になる等、実際に自分が混ぜているような感覚で学んでいくことができる。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒にページをめくり、出てくる色を確認する。</p> <p>(2) 教師と一緒に本をこすったりゆすったりして、実際に触れながら読む。</p> <p>(3) 本に描かれている絵の具の色を出して画用紙に色を付ける。</p> <p>(4) 本の内容通りに色を混ぜ合わせ、本と同じ色になったかを確認する。</p> <p>(5) 好きな色を見つけ、繰り返し色を混ぜ合わせる。</p> <p>(6) 挑戦していない色を使って、自由に色遊びをする。</p> <p>(7) 出来上がった作品を色の見本として掲示し、今後の授業に役立てる。</p>				

(記入上の注意)

- 対象学年の () は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	13
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		せかいのおうたえほん		発行者名		ベネッセ	
図書の内容		<p>本書は、16曲の世界の歌が入っているメロディー絵本である。アメリカ、イギリス、フランス、中国等、全部で14カ国の音楽が入っている。子ども達が、一度は耳にしたことがあるような歌を中心に選曲されている。歌詞カードも付いているので、歌詞を見ながら一緒に歌うことができる本となっている。また、歌詞カードには「世界のおうたメモ」が付いており、国の説明が書かれた文が掲載されている。歌を通してその国に興味や親しみをもつことができるような内容となっている。</p>					
対象学年		小学部3年(特別学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	音楽	
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、肢体不自由と知的障がいを併せ有する児童である。知的発達には5歳程度である。両下肢に機能障がいがあり、日常生活では車椅子を使用しており、日常生活全般において支援を必要としている。</p> <p>音楽には強い興味をもっており、休み時間に歌のCDを聴いたり一緒に歌ったりして楽しむ姿がみられる。音楽の学習も意欲的に取り組み、歌唱では大きな声を出して歌うことができる。</p> <p>本書を活用することで、世界の歌に興味をもち、また歌を通して世界の国を知ることができる。そしてまた別の国の音楽にも触れる機会が生まれる。様々な曲があることがわかり、音楽的な視野を広げることができる。考える。</p>					
	指導の概略	<p>(1) 自動演奏の歌を一通り聴く。</p> <p>(2) 知っている歌や聴いたことがある歌を教師と一緒に歌ったり身体表現をしたりしながら楽しむ。</p> <p>(3) 聞き慣れない歌を聴き、どんな印象を受けたか感想を発表する。</p> <p>(4) その歌がどこの国の歌かを知り、その国の他の曲を聴く。</p> <p>(5) 世界の国のそれぞれがもつ、歌の雰囲気を感じ取る。</p> <p>(6) 世界の国と歌をクイズ方式で学ぶ。</p>					

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	14
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	パパ、お月さまとって！ (ボードブック)		発 行 者 名	偕成社	
図 書 の 内 容	本書は、エリックカールの「パパ、お月さまとって！」のボードブックで、手に取りやすいサイズの絵本である。独特のタッチと色の使い方で、絵を見ているだけでも、お月さまを身近に感じることができる。本書の中にはいくつかの仕掛け部分がある。文中の「ながい」「おおきい」「うえ」「した」という言葉と仕掛けの動きを連動させて、楽しみながら身近な生活の中にある長さや量に関心をもつことが期待できる絵本である。				
対 象 学 年	小学部3年(特別学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、両下肢に機能障がいがあり、知的発達が3歳程度の知的障がいを併せ有する児童で、日常生活全般において支援を必要とする。</p> <p>朝の会では、自分が呼名されたことがわかり、顔を向けたり手を挙げようとしていたりする様子がみられるようになってきた。また、ゆっくり動くものであれば、追視することができるようになってきた。</p> <p>本書を使用し仕掛けを動かしながら、数量を表す言葉を実際の動きや視覚から受ける感覚と連動させて体感させたいと考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に絵本を見る。</p> <p>(2) 児童の目の高さでページをめくったり、「ながい なが～い」や「うえ」などの文を教師が読みながら仕掛けを動かしたりする。</p> <p>(3) お月さまの大きさに比例して文字の大きさも変わっているので、声の大きさに留意しながら教師が読む。</p> <p>(4) 児童が自分でページをめくったり仕掛けを動かしたりするのを待ちながら、教師が絵本を読む。</p> <p>(5) 絵本の仕掛け部分にさらに仕掛けを付け加えて「ながい」「おおきい」など数量を表す言葉と視覚から受ける感覚を体感できるようにする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	15
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		しごとば	発 行 者 名	ブロンズ新社		
図 書 の 内 容		<p>本書は「美容師」「新幹線運転士」「すし職人」「自動車整備士」「木のおもちや職人」「革職人」「歯医者」「パティシエ」「グラフィックデザイナー」の仕事について取り上げている。一つの仕事につき、見開き2ページに仕事場を紹介する緻密なイラストが描かれ、さらに職人が使う道具や仕事の流れについて、わかりやすい解説が添えられている。見開きページのイラストは、一つ一つの絵にその名前が添えられており、その仕事をするための環境がどのようになっているかが一目でわかる。身の回りにどのような仕事があるのかを知るきっかけになったり、興味のある職業について知識を深めたりすることができる図書である。</p>				
対 象 学 年		中学部2年(特別学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	職業・家庭
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、聴力が左右とも95dbの聴覚障がいと軽度の知的障がいを併せ有する生徒である。日常生活動作はほぼ自立しており、補聴器を活用してある程度のコミュニケーションをとることができる。将来に向けては保護者、本人との面談において、グループホームなどでの共同生活や支援を受けながらの社会参加を目指している。進路学習などで「デパートで働きたい」「美容師もいいかな」などと話すが、仕事内容についての理解が不十分だったり、様々な仕事についてのイメージを具体的にもてなかつたりしている。仕事について知識や情報を得ることで、自分のやりたい仕事について知ったり、将来の職業選択の幅を広げるきっかけになったりするのではないかと考える。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 興味・関心のある職業のページを教師と一緒に読む。 (2) 職人が使う道具や仕事の内容などを書き出したりして、様々な職業について知る。 (3) 知っている職業について話したり、興味・関心のある職業について調べたりする。 (4) 家族の仕事について聞いたり、身近な職場を見学したりして様々な職業について知る。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	16
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	たのしくおぼえるあいうえおえほん	発 行 者 名	あかね書房		
図 書 の 内 容	<p>本書は、見開き2ページで1つの平仮名を取り上げている。左のページは学びのページとして平仮名が大きく書かれており、その下にある書き順のとおりなぞったり、声に出して読んだりすることで平仮名の読みと書きを学ぶことができる。右のページは遊びのページとして、短い文を読んだり、付属の「まほうのシート」を使って文字やイラストを浮かび上がらせて楽しんだりすることができる。</p> <p>身のまわりのあるものに名前があることに気付いたり、生活全般への興味関心につなげたりすることができる。</p>				
対 象 学 年	小学部3年	障 がい 種 別	知的障がい	該 当 教 科	生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は知的発達に5歳程度の知的障がいと自閉症を併せ有する児童である。日常生活動作はほぼ自立しており、簡単な内容であれば指示を聞いて行動できる。教室の物の配置や掲示が変わると、以前と何か違うということに気が付き、そのことを教師に伝えようとする様子もみられる。平仮名を読むことは難しいが、絵本に興味があり、気に入った絵本を繰り返し手にとったり読んでほしいと要求したりすることがある。</p> <p>本書に付属の「まほうのシート」で隠れている絵や文字を自分で見つけたり、見つけたものを友達や教師に教えたりしながら、友達や教師と楽しくかかわったり、コミュニケーションを広げたりすることができると思う。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 絵本を自由に見る。</p> <p>(2) 教師と一緒に絵本を見ながら、平仮名を指でなぞったり教師が読む短い文を聞いたりする。</p> <p>(3) 教師と一緒に「まほうのシート」を使って絵や文字を浮かび上がらせて楽しむ。</p> <p>(4) 「まほうのシート」を使って、短い文に出てくる食べ物や動物などの名称を当てるゲームをする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	17
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	ポカポカフレンズのリズムえほん マラカス		発 行 者 名	ミキハウス	
図 書 の 内 容	<p>本書は、子どもたちになじみのある童謡のほか、全6曲の歌と、ピンクと水色のマラカス、歌詞がセットになった絵本である。マラカスにはそれぞれ3曲ずつのメロディーが収められておりスイッチを押すと歌が流れるほか、マラカスを振るとライトが光り、音だけでなく視覚的な変化も楽しむことができる。ストラップを付けることもできるので、持ち続けることが難しい児童生徒への対応も考えられている。本体からマラカスはずして、それを振るだけでマラカスの音やお楽しみメロディーも流れるので、手軽に演奏を楽しむことができる。</p>				
対 象 学 年	小学部2年(特別学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	音楽
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>知的発達が4歳程度の知的障がいと右手に麻痺のある児童である。身辺処理には一部介助を要するが、簡単な言葉の指示と教師の動きで、自分からやろうとする態度やできることが少しずつ増えてきている。歌が好きで、曲がかかると体を左右に動かしたり、左手で右手を叩きリズムをとろうとしたりする様子がみられる。絵本の本体から取り外して曲を聴いたり、マラカスを自由に振ったりすることで、様々な音やライトの点滅を楽しみながら学習することができると思う。</p>			
	指導の概略	<p>(1) どこに曲のボタンやライトがあるのか触れたり見たりして確かめ、音を出してみる。 (2) マラカスの音やお楽しみメロディーの音を出してみる。 (3) 絵本を見ながら、曲を聴いたり歌ったりする。 (4) 曲を流しながら自由にマラカスを振る。 (5) 歌詞に添えられているマラカスの印のとおりマラカスを振る。 (6) 本書に収められていない曲でもアレンジを考えてマラカスを振る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	18
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		くだものさん	発行者名	学研		
図書の内容		<p>本書は、見開き2ページでひとつのくだもの当てっこ遊びが楽しめる。左のページで「くだものさん くだものさん だあれ」と問いかけ、右のページの仕掛けを下にめくると正解の果物があらわれる展開が繰り返される。切り絵を思わせるようなはっきりした絵で読みやすい。問い掛けと仕掛けが毎回同じパターンで繰り返されることで、次の場面の展開への見通しをもち、予想通りの展開となることで安心して楽しむことが期待できる。</p>				
対象学年		小学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、知的発達に3歳程度のダウン症の児童である。身辺処理が未確立な部分があり、一部支援を要する。簡単な言語指示を理解して行動することができる。友達や教師とのかかわりに積極的で、言葉は不明瞭であるが、自分から話そうとしたり、身振りで自分の思いを伝えようとする様子もよくみられる。友達や教師のしていることに興味があり、そばに来て覗き込んだり、やってみたいと訴えてきたりすることもある。</p> <p>本書による学習では、教師と一緒に絵本を見ながら楽しみ方を覚えると、自分から絵本を手にとって仕掛けをめぐってみせて、教師や友達が見せる反応を楽しんだり、繰り返し出てくる問い掛けの言葉や果物の名前を話そうとしたりするのではないかと考える。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 教師の読み聞かせを見たり聞いたりする。 (2) 絵本を見ながら、教師と一緒に仕掛けを動かしてみる。 (3) 絵本を見ながら、教師の問い掛けに自分から仕掛けを動かす。 (4) 正解の果物の名前を口に出して言う。 (5) 教師や友達の前で、自分でページをめくったり、仕掛けを動かしてみせたりする。</p>				

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	19
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		ひまわり	発 行 者 名	金の星社	
図 書 の 内 容		ひまわりは我々に身近な花のひとつである。本書は、ひまわりの成長を追い、まとめたものである。種を植えるところからはじまり、発芽から双葉、本葉が出て、茎を伸ばし、つぼみをつけて開花、再び種となるところまでの過程が、写真を撮ったような緻密なイラストで描かれており、何度も手にとって繰り返し見たくなる図書である。			
対 象 学 年		中学部1年(特別学級)	障がい種別	病弱	該当教科 理科
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、これまで慢性疾患で入退院を繰り返してきたため学習空白が多く、また、知的発達に7歳程度の知的障がいも併せ有している。体調面では状態が安定してきており、現在小学校2年生程度の学習内容に取り組んでいるが、慢性疾患のため生活場面や学習場面に活動制限があり、本やテレビでは知っているが実際に見たり触れたりした経験が少ないという事柄も多い。</p> <p>本生徒は身近な動植物に興味をもっている。飼育や栽培の経験が少ないことから、本書を参考にしてひまわりの成長について知り、実際にひまわりを育てる経験をさせたい。実際にひまわりを育て自分の目で確かめることを通して、植物が育つということへの理解と自然への興味関心を育てていきたいと考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に読む。</p> <p>(2) 一人で読む。</p> <p>(3) ひまわりの成長や各部の名称を知る。</p> <p>(4) いくつかの条件の下で実際にひまわりを育ててみる。</p> <p>(5) 観察記録をつける。</p> <p>(6) 記録をまとめ、植物が育つために大切なことを知る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	20
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		くっついた	発行者名	こぐま社		
図書の内容		<p>本書は、見開きの左右に一つずつ動物の絵と短い文が描かれており、次のページは「くっついた」の言葉と中央で動物がくっついた絵があらわれるという展開が繰り返されている。次の場面の見通しと期待感がもちやすく、優しいタッチの絵で見やすいことから、何度も手にとりたくなる絵本である。終わりのページは「私」を中心にして「おかあさん」と「おとうさん」がほっぺをくっつけ合う展開になっており、自分が大事にされている存在であることも伝わってくる内容となっている。</p>				
対象学年		小学部1年(特別学級)	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、知的発達に2歳程度の児童である。身辺処理では一部支援を要するが、自分でやろうという態度が少しずつみられてきている。簡単な言葉の指示で行動したり、朝の会などの毎日の繰り返しの活動の中では、次の展開にある程度見通しをもつことができたりするようになってきた。</p> <p>本書は、本児にとって次の場面への見通しがもちやすく、安心感につながる内容である。教師と一緒に本書を見ながら、自分が指さしたものを声に出して読んでもらったり、自分がページをめくって場面を変える楽しみを感じたりしながら、意欲的に学習に取り組むことにつなげていきたい。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に絵本を見る。</p> <p>(2) 教師による読み聞かせを聞く。</p> <p>(3) 教師と一緒に動物の絵を指さしたり、自分からページをめくったりすることで絵本を楽しむ。</p> <p>(4) コピーするなどして2匹の動物の絵を用意し、「くっついた」のことばとともに教師と一緒にくっつけて楽しむ。</p>				

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。